

Topics

トピックス

経済

環境

三井倉庫株式会社が「物流環境特別賞[※]」を受賞

総合飲料メーカー様とのパートナーシップのもと、メーカー様の複数の製造工場付近に門前倉庫を設置し、各サプライヤーから届く原材料を集約、工場へ一括輸送することで、トラックの積載効率

向上、台数削減によるCO₂の排出量削減を実現し、「物流環境特別賞」を受賞しました。また、バラ積み貨物のパレタイズ化等物流現場の労働負荷の低減にも貢献する取り組みとなっております。

※物流環境特別賞：物流環境大賞(企画・主催：一般社団法人日本物流団体連合会)における部門賞のひとつ。

社会

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、三井倉庫グループはお客様、お取引先、従業員およびその家族の健康・安全を優先しながら、「物流」という重要な社会インフラの一つを支える企業グループとして適切な事業継続に向けた様々な取り組みを実行しております。



基本方針

- お客様、お取引先、従業員およびその家族の安全を優先しながら、「物流」という重要な社会インフラを支える企業グループとして、安定した物流サービスを提供する
- ステークホルダーへ適時適切な開示を行う

従業員の安全

- 在宅勤務や時差出勤の実施
- オンライン会議の導入
- マスクやアルコール消毒液等の配布
- 検温や体調管理の徹底

物流を止めない

- 感染症対応対策チームの設置
- 事業継続のための体制構築・人員配置
- お取引先への感染予防対策

社会のために

- 医療機関への医療用マスクの寄付
- IR対応(決算説明会、株主総会)における感染症対策の継続実施

取り組み

NEWS

三井倉庫株式会社、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社と株式会社メディコンの国内物流業務を一括受託

医療技術のグローバルリーダーであるベクトン・ディッキンソンの日本法人、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社(以下、日本BD)および株式会社メディコン(以下、Medicon)から、日本国内での物流業務を一括受託し、全国3拠点にて順次業務を開始することになりました。

2017年にMediconが日本BDのグループ企業となったことに伴い、両社間で流通管理の一元化を目指すプロジェクトが発足し、本業務の拠点再編が実現しました。

各ヘルスケア領域に最適なSCMを提案し高度な品質管理体制の継続的な整備を通じて、お客様の事業拡大に貢献してまいります。



本業務を対応予定の関東P&MセンターⅡ(仮称)の完成予想図(2021年6月竣工予定)